

一流潜入捜査官敗北



28
ページ

作：ブロイラー野鳥



くそっ
いったいどこで
足がついたんだよ…!?

データがすっかり
抜き取られてやがる…

この女はどこから
送り込まれたんだ…!?

でもべつに
焦ることはない



やれやれ
この私がドジを
踏むなんてね…

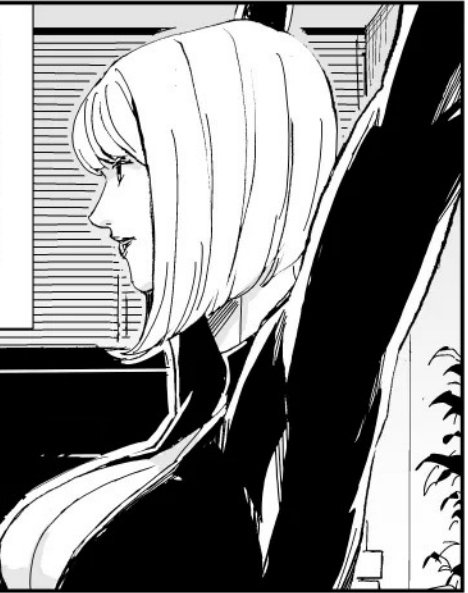


それともなに？
腹いせに拷問
でもしてみる…？



いまさら私を
拘束したところで
手遅れってわけ

違法薬製造の証拠と
その顧客リストの
データは送信済み



フッ

私を
そんじよそこの
興信所の連中と
一緒にして
もらっては困るわ…!

政府直属の
影の諜報機関

狭き門を突破した
選りすぐりの捜査官
エージェント

壊滅させた
犯罪組織は
数知れない

あらゆる尋問への
忍耐力も備えてある

ま
パスワード解析に夢中で
部屋に催眠ガスが
充満してること
気づかなかつたのは
うかつだったけど

よしっ
ウラは
取れたんだな

『組織』がデータの
検証を終えれば
すぐにでも特殊部隊を
送り込んでくるはず

せいぜいもって
2時間ってところ…

ガキヤ

ガキヤ



あーわりい
もう全部話すわ

?



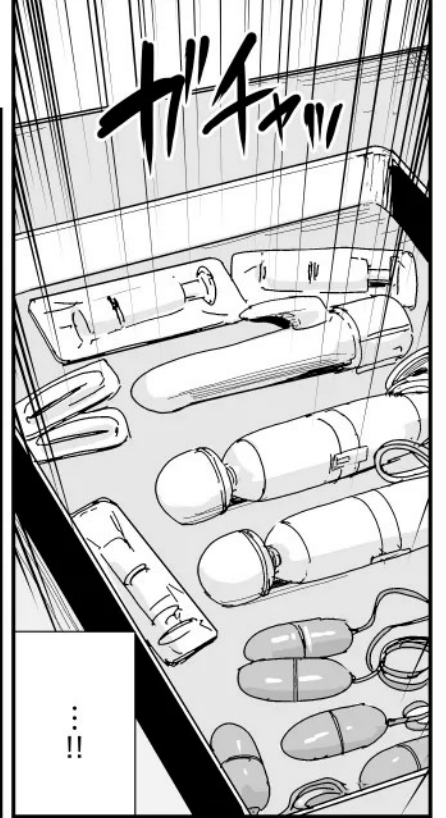
…まったく
短絡的な奴らね

さて私から何を
聞き出そうってのかな

どうって…

どうする？
この女…

?



ガキヤッ

…!!



ん？
つまりアンタが
捜査してたこの薬の
顧客リストに

政府関係者も
含まれてたってこと

?



結論から言うと
アンタはもう
詰んでんだわ

…??
何言って…

…っていうのも
アンタの所属してる
政府機関の上層部と

?



ちょうど今
話をつけたんだわ

?



…これは
ブラフ

心理的に揺さぶりを
かけようって魂胆ね

よーしそのまま
電マ当ててけ



もちろん
この薬の効能は
知ってるよな…？

…

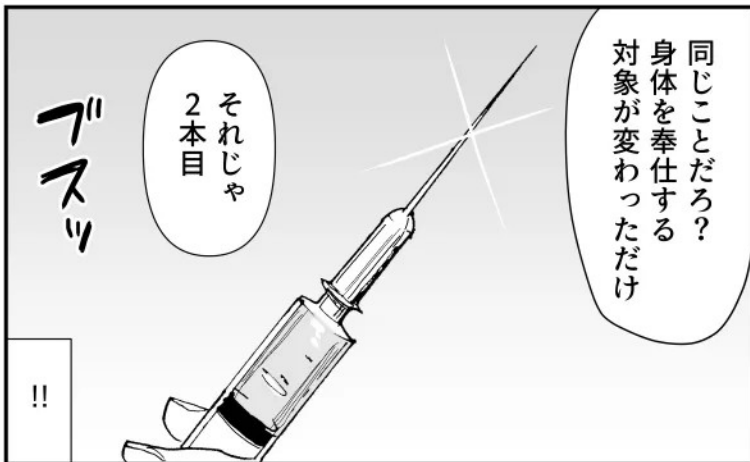
エエ



俺たちの奴隷に
なってくんないかな
くく…

あもちろん
違法薬開発の
実験体って意味ね

！



同じことだろ？
身体を奉仕する
対象が変わっただけ

それじゃ
2本目

ブ
スツ

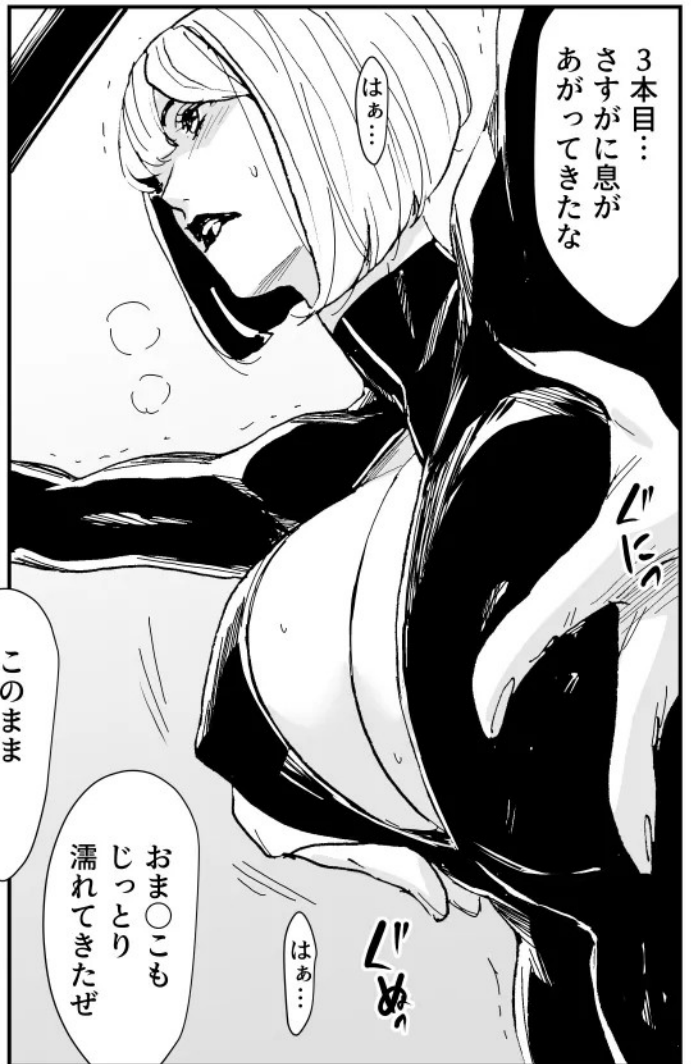
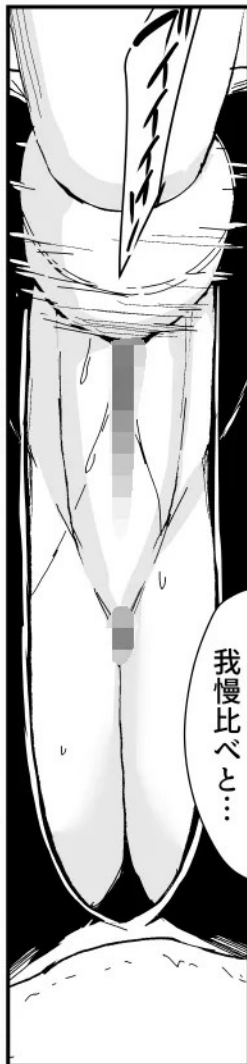
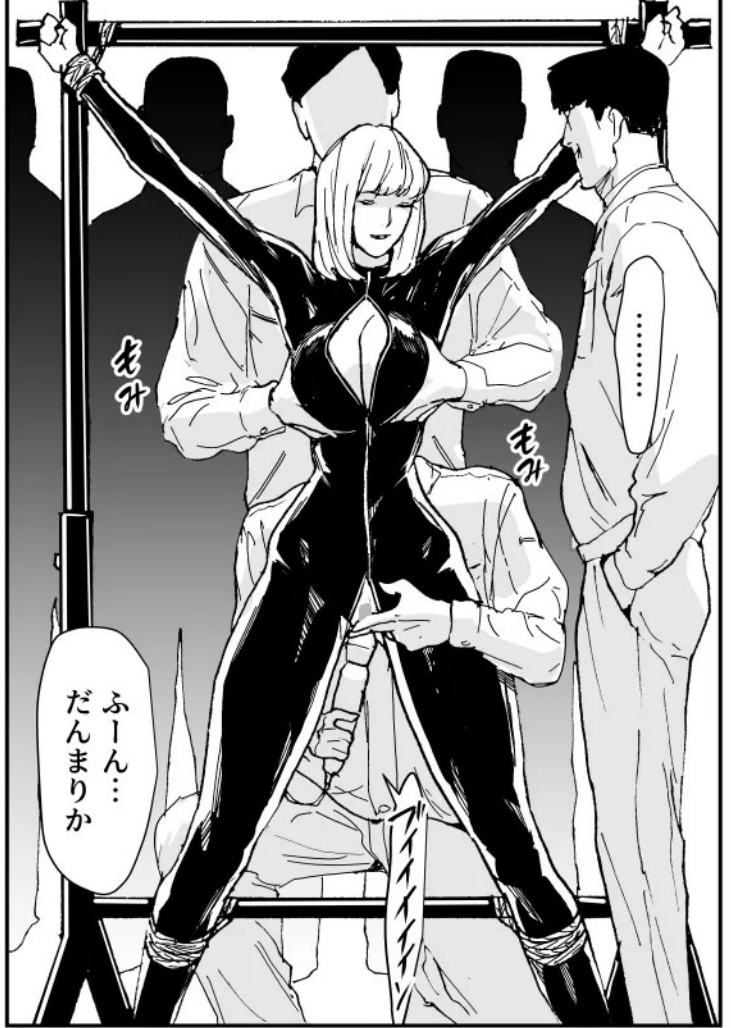
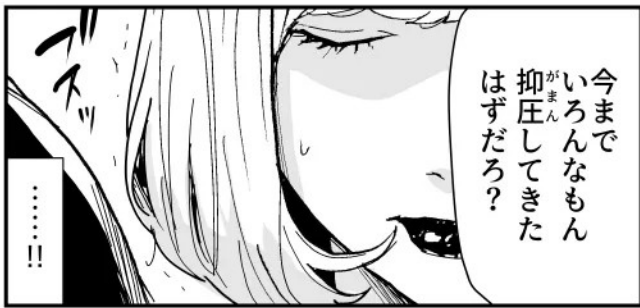
！！



ふん…
その手には
乗らないわ

で
おねーさんの
再就職先の
打診だけどさ…

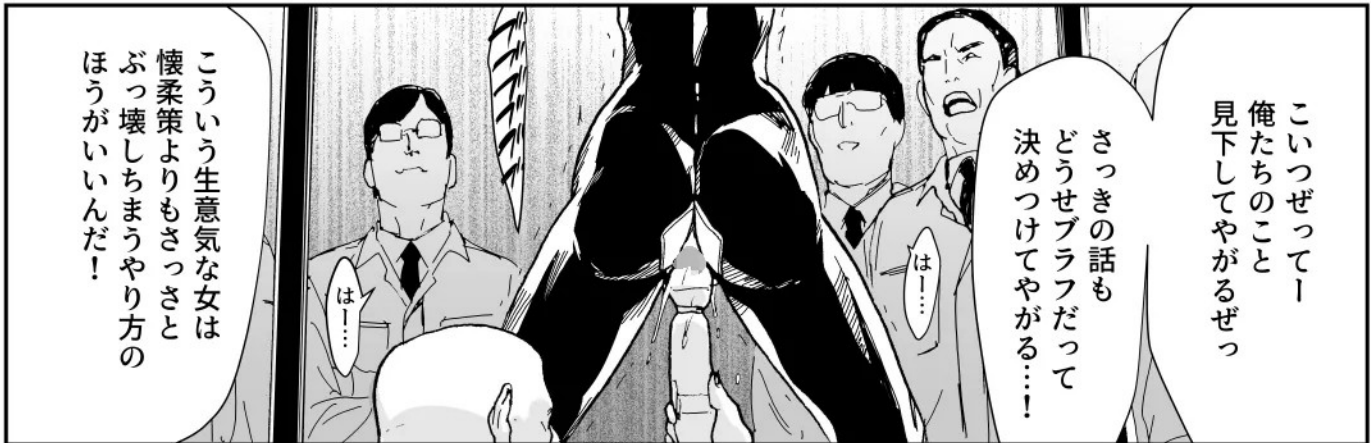
…





.....!
!?

おいおい
いきなり
クリに局所注入は
やりすぎだろ



こいつぜってー
俺たちのこと
見下してやがるぜっ

さっきの話も
どうせブラフだって
決めつけてやがる...!

は!!

こういう生意気な女は
懐柔策よりもさっさと
ぶっ壊しちゃもうやり方の
ほうがいいんだ!



あ...



.....!!



とどめに
もう一本

...!!



ほら見ろ!
膣内^なが収縮
し始めたぜ

なんだこの女
案外あっさり...





所長
保健副大臣から
ご連絡が

うむ

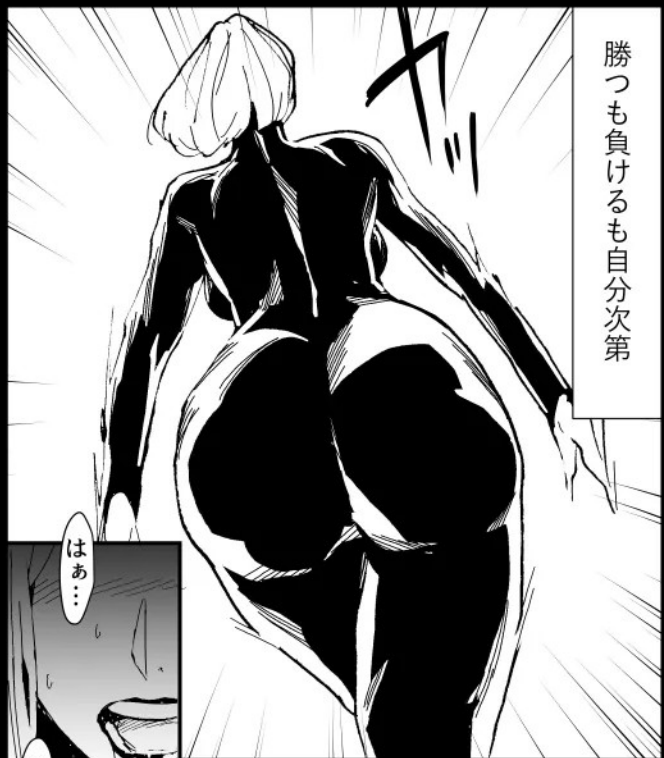
市民の平和を
守るため
身命を賭して



国家に仇なすもの
には必ず制裁を



聞いた？
また退職者が
出たって



勝つも負けるも自分次第



はあ...

はあ



：悪いけど
この世界は
実力がすべて
誰も去る者を
追いはしないわ



よっぽど
無理してなきや
こんな仕事
続かないよ...

こらっ
声大きいって



新人選抜試験も
合格者が減ってる
って話だし...

大丈夫なの？
この職場

はは苦しそうだな
本格的に薬が
全身をめぐる
ムラムラが
止まらねえんだろ



へえまだそんな
生意気な目が
できたのか

まだ
負けてない…!!

ふふ…

どうせこいつら
何も掴んじやない

すぐにでも
私から情報を
吐き出させようと
しかけてくるはず…!

はあ…

はあ

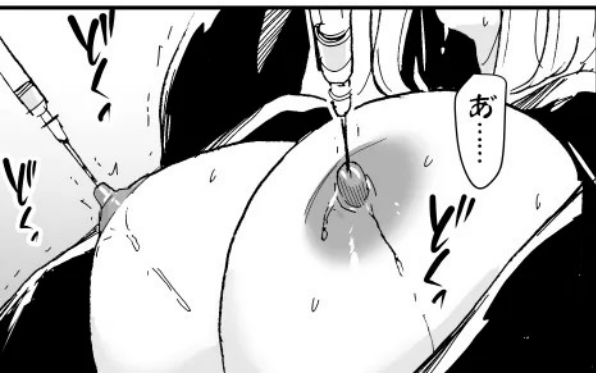
2.5流のくせに
プライドだけは
高いんだね

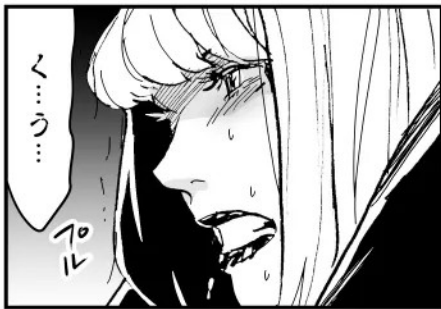
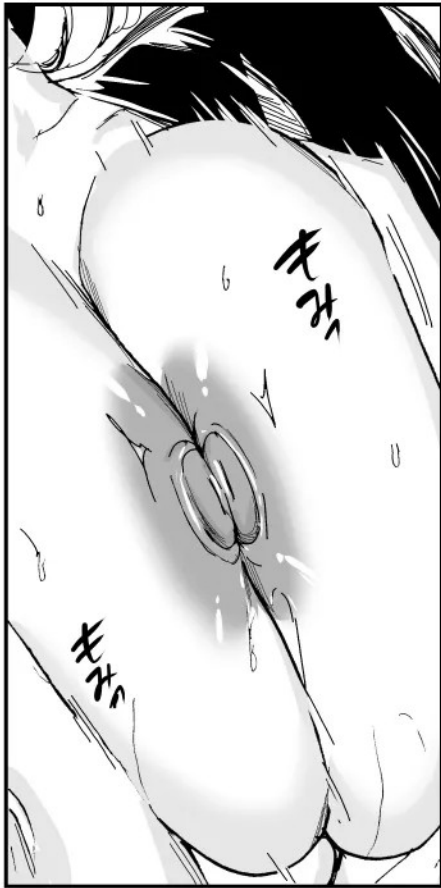
助けが来る
までの辛抱…

んあっ…

ますます
おねーさんが欲しく
なっちゃったよ

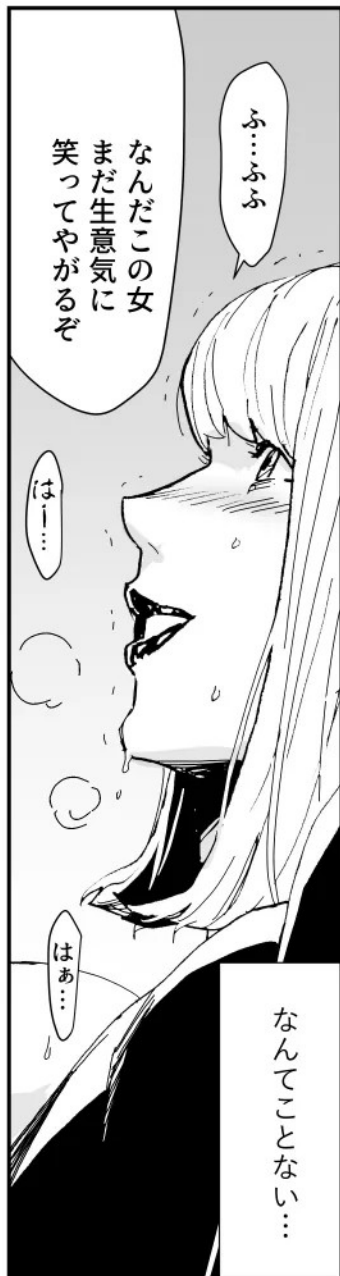
あ…





これじゃもう
捜査官なんて
続けられないねえ





なんだこの女
まだ生意気に
笑ってやがるぞ

ふ…ふふ

は…

はあ…

なんてことない…



イ…ク…♡

ひん

ひん

BB

BB

は…

は…ああ…ん♡

はは
なっさけえねえ
胸でイキやがった



ふふ…

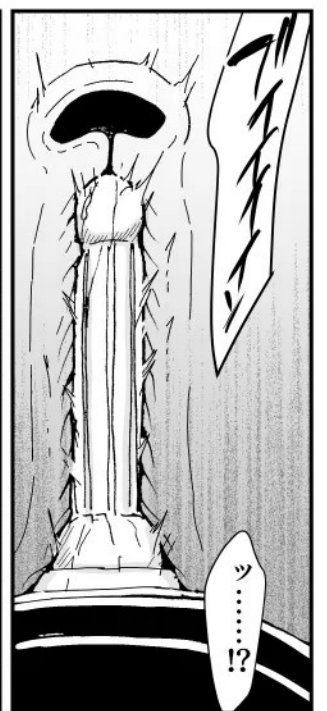
!

Vo!!!



めんどくせえな
さっさと堕ちろ
つての…!!

まさかまだ
助けが来ると
思ってたのか?



ッ…!!?



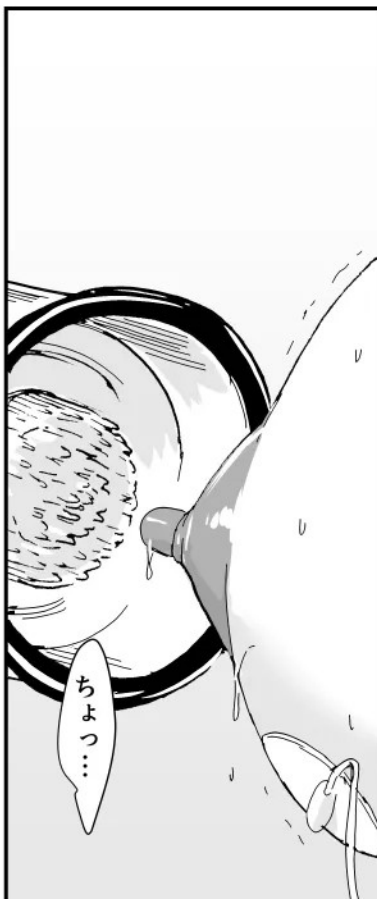
ぎゅぎゅぎゅ

はは
いい声で鳴く
じゃねえか

効いてる
効いてる

じゃあここで
おねーさんに
ひとつ質問〜！

……!!



ちよっ……



は？

んん
無回答だったから
硬めでいくね



尋問：



こいつらに
こんなことしてる
余裕はないはずじゃ…

お…
おかしい

お……お……お……



あ…



惑わされちゃ…



いい加減
目え覚ませって



ば…ばかっ…

か……は

こいつらの言うこと
惑わされちゃいけない…!!



イグう…♥
あああああああ

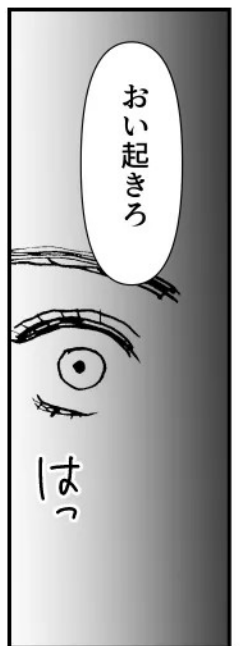
レレレレレ
あああああああ

ぎ…

ぎぎぎぎい…

ははははは
勝手に漏らしやがった…!!

おんおんおん



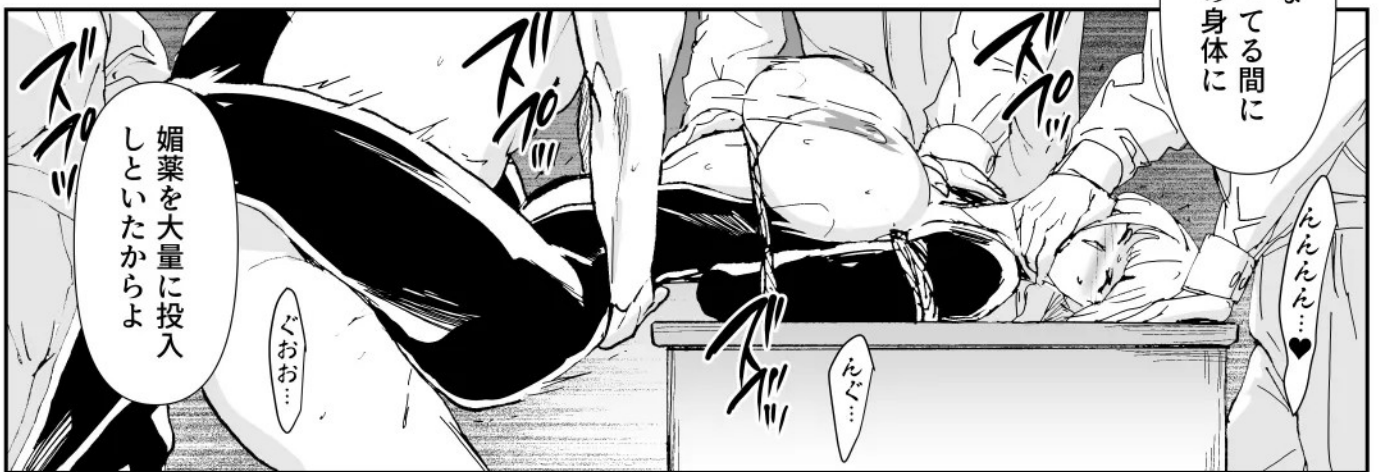
!?



感謝しな
気を失ってる間に
アンタの身体に

ぐぐぐ……

ぐぐぐ……



媚薬を大量に投入
しといたからよ

んんんん……♡

んんん……

ぐおお……



げほ……

ほら
イケイケ

ああ……♡

うああっ……

子宮に
流れ込まれながら
派手にイッチちまえ

あぐ……

ぐぐぐ……

ああ……あああ……♡



いや……あ

熱……

あ……ああ……



はは子宮が精子を
吸い込んでいくぜ

身体はもう完全に
堕ちたみたいだな



ただ問題は



全部お見通しなんだよ
この2.5流……!!

そんな……



ほらな
やっぱりまだ
反撃の機会を
うかがってやがった

……!?



おっと



このまま
何十発何百発と
流し込んで

立場ってやつを
分らせて
やらねえとな

んんん...



悔しそうな顔
そそるねえ
抵抗してみろよ



んああつ...♡

できねえよなあ
気持ち良すぎて

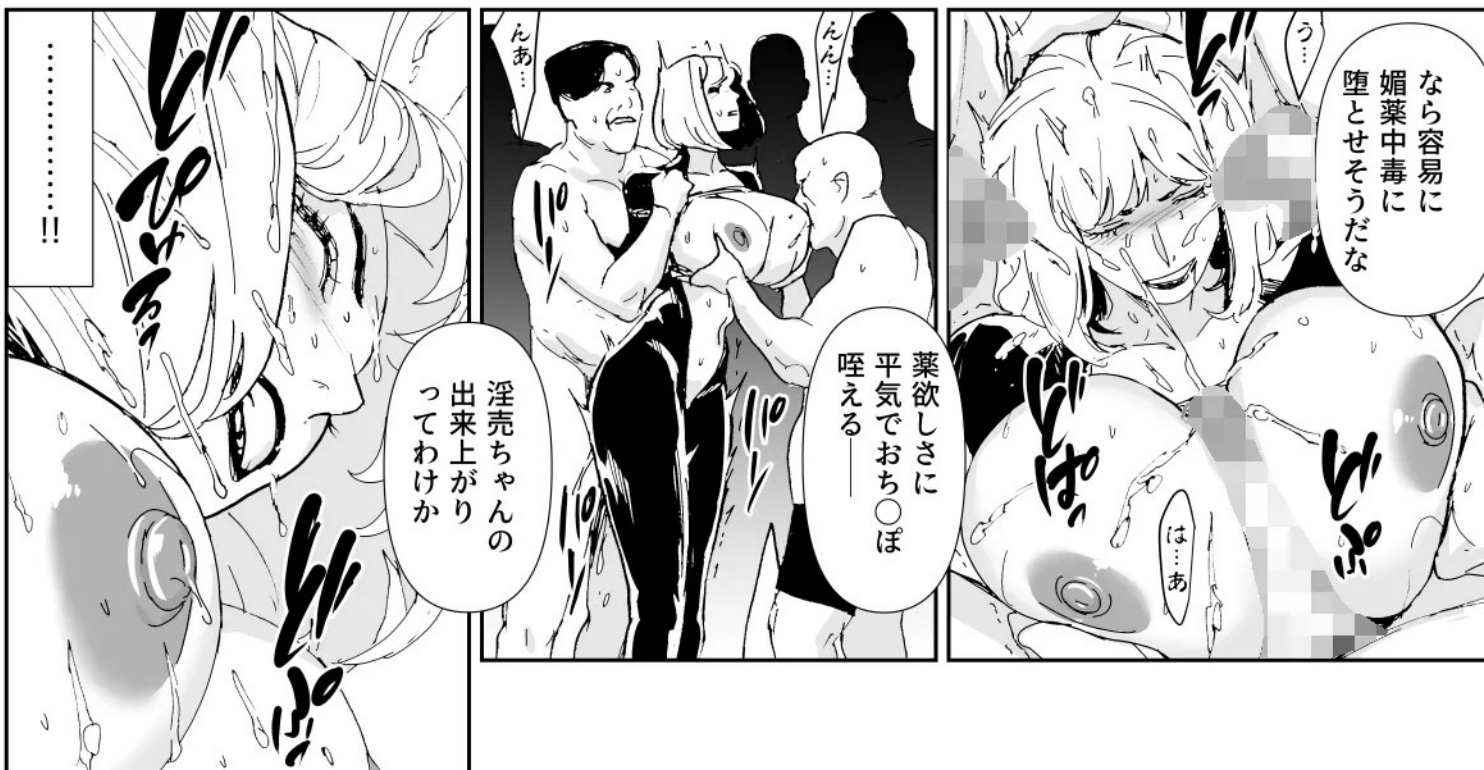
ああああ...だめ



んああ...ああ...

は...あん♡

ほらよ
ケツ穴で
イケっ...!!



調子に乗るのも
いい加減にしなさい…!!

あなたたちの
犯罪の証拠はとっくに
送信済みなのよ…!?

もうすぐ『組織』の
特殊部隊が到着して…

ああっ…♡

おいまじかよ
妙に押し黙ってるよ
思ったらこの女

この期に及んで
まだ現実が見えて
なかったのか

…!?

…ったく
しょうが
ねえなあ

ふーっ…

…!!

ほら繋がったぞ
よーく耳の穴
かっぼじって
聞きな

あー…すまんね

し…室長?

14:32



秘匿通話

…じゃない
この声は…!?

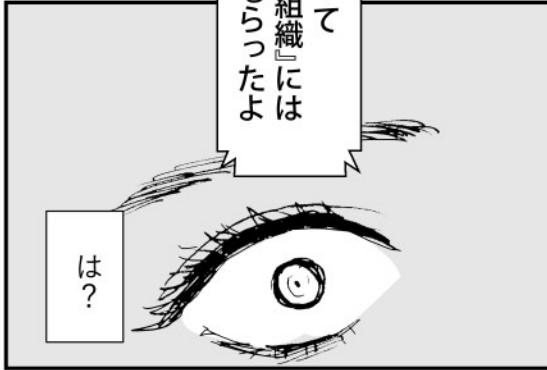
もう我慢ならぬ…!!

私が誰だか
分かってない
ようね…!!
危機感ない
ようだから
教えてあげるわ…!!



総選挙が近いんでな
今君たちに余計な
スキャンダルを
騒ぎ立てられると
まずいんだよ

君の上司にも警告を
したつもりだったが…



本日をもって
君たちの『組織』には
解散してもらったよ

は？



保健省
副大臣の〇〇だが

ふ…副大臣



国家のための
尊い犠牲と
なってくれたまえ

ガチャ

……!!?



そんな私まだッ…

今の君の置かれた状況は
君の落ち度が招いた
ものでもあるんだろう？

申し訳ないが
これも捜査官としての
職務の一環と思って

ブク

ッ…!?

ブク



た…助けは…？

で君の処遇だが
事情をマスコミに
嗅ぎつけられた
今となっては
もう君の存在自体が
我々にとって
まずいのだよ

そっ…



ありあ
だから言ったじゃん
早く楽になりなよって

こ…殺して

もう…
殺し…



あ…ああ

ツ…

ツ…



アア…

だめだめ、
これから
楽しい人生が
待ってるんだよ



ど…どれ…い

ひぎ…

イゲ…

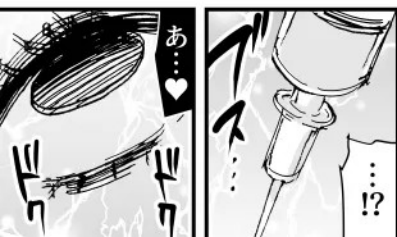
んおおおおお



俺たちの
奴隷としてのね

うぐう…

オオ…♡



あ…♡

…!?

あ…あああああ…!?

やほこ…



正直もう
心折れたんだろ?

なに…これ…
イクの止まんない…

イクイク…イクウ…

はは
今までと比べ物に
ならないぐらい
よがり始めたぞ…!!

アンタは
負けたんだよ



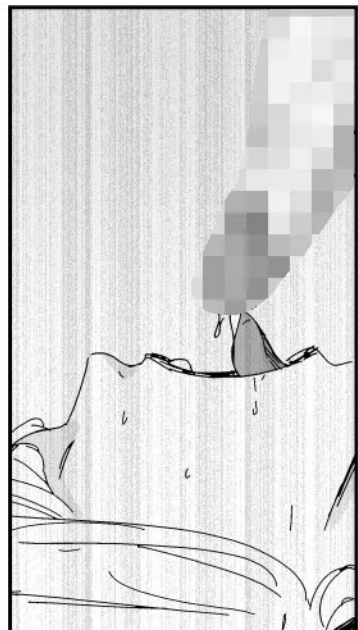
いやあッ…



あ…

市民の平和を
守るため
身を賭して

全部
忘れちまいな







空っぽに
なっちゃえば
いいんだよ

あ…はは♡

またイク…

きささ…

そしたら
そこに



ああああ♡

好き…

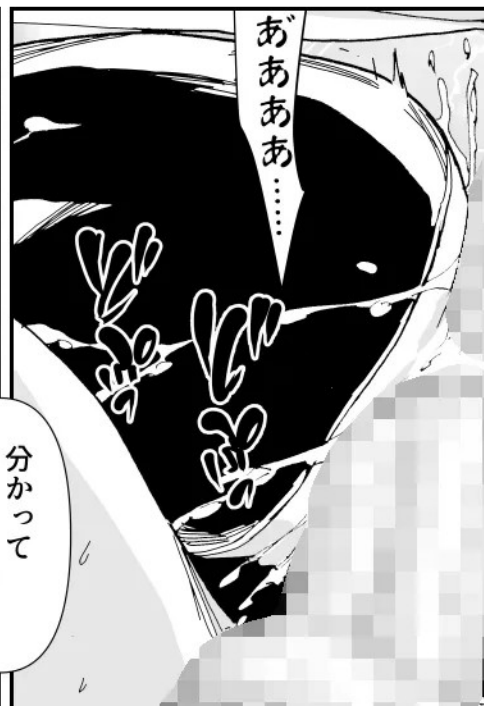
今までのこと
きれいさっぱり
忘れて

ふふ…
いい子だ



分かって
くれたかな？

は…♡



ああああ…



気持ちいいの
いっぱい流し込んで
あげるからね

イグう…



ああ…♡

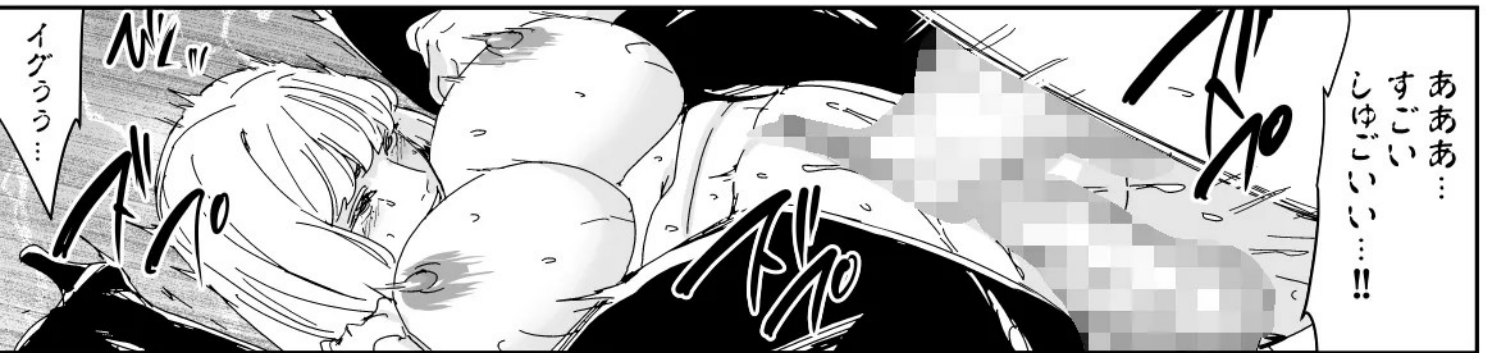
ただの
雌豚ですッ…!!

もっと
おち○ほ
ください…!!

わたしは2.5流…
いや3りゆ…

…

おお…



あああ…
すごい
しゅごい…!!

イゲうう…



ぶち
まけて…

ああああ…だ♡

んん

んん

は…

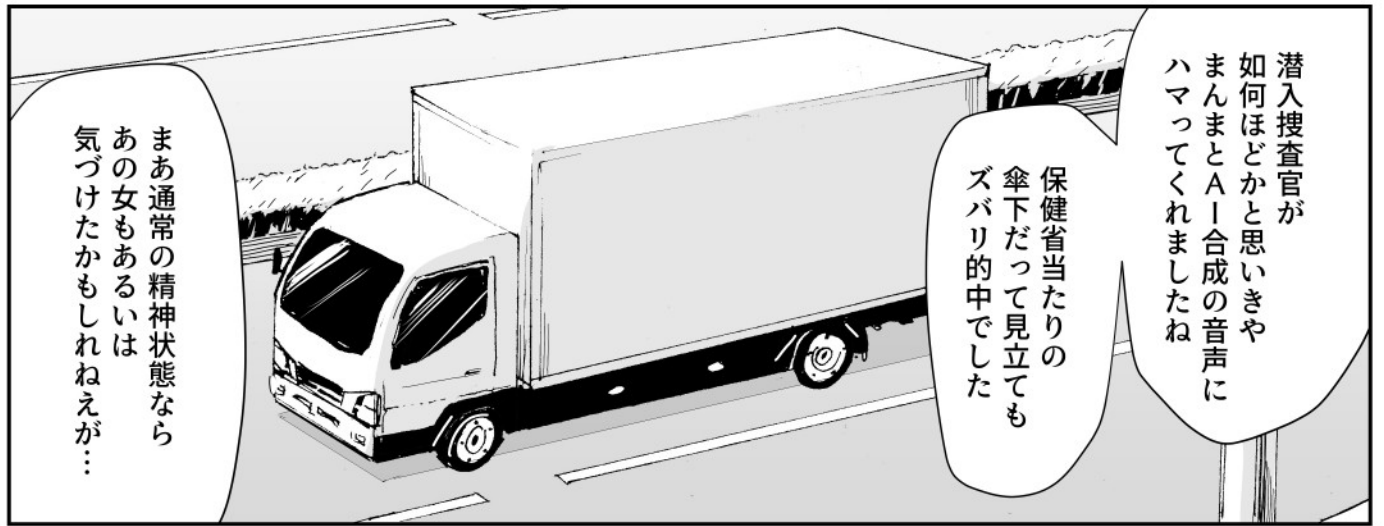
は…

しかしよく
間に合いましたね

ああ急ごしらえだったが
うまくだませたようだ

いっ…ぱい…♡

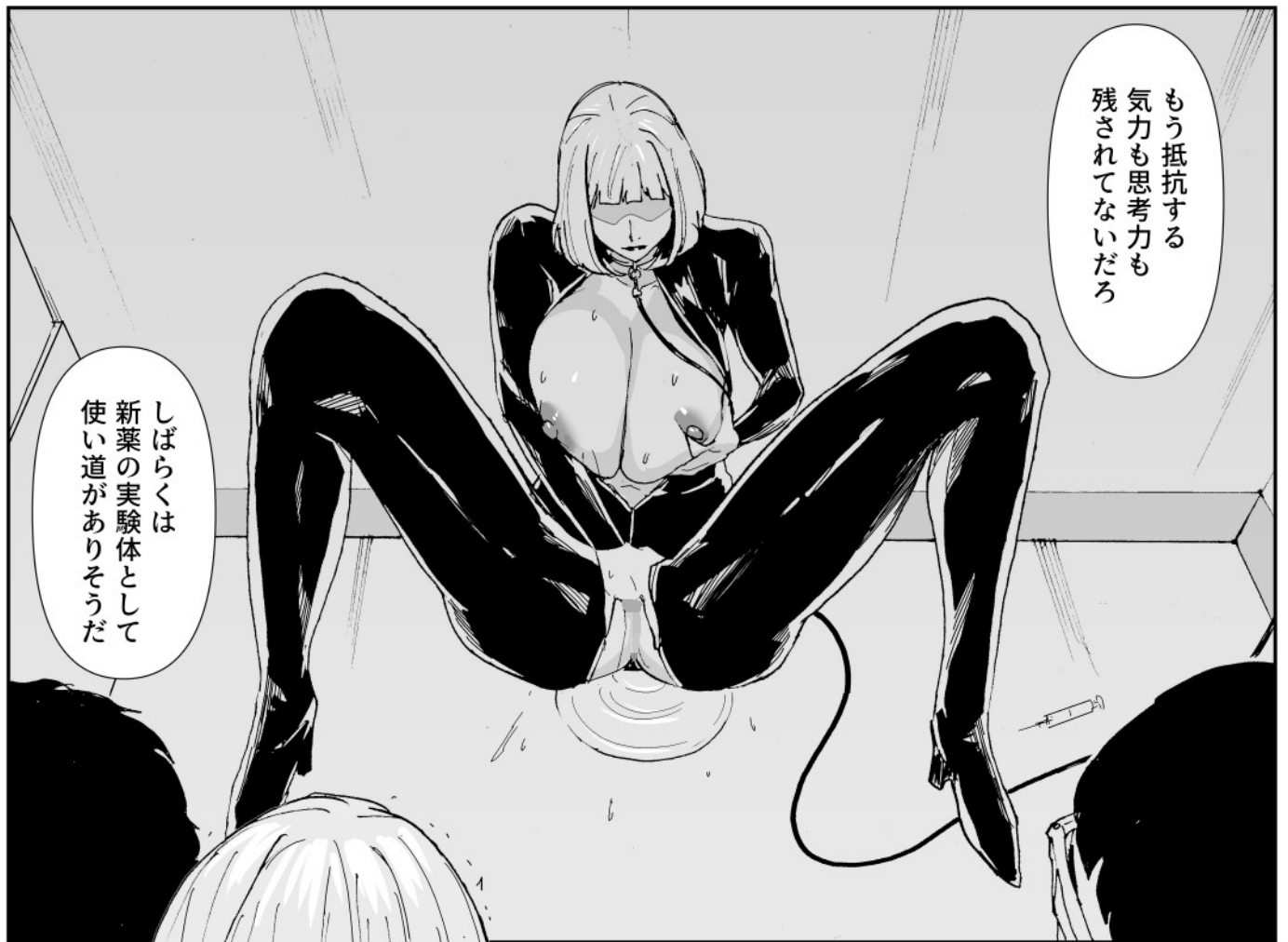
あふれ…てる



潜入捜査官が
如何ほどかと思いきや
まんまとA-1合成の音声に
ハマってくれましたね

保健省当たりの
傘下だって見立ても
ズバリの中でした

まあ通常の精神状態なら
あの女もあるいは
気づけたかもしれねえが…



もう抵抗する
気力も思考力も
残されてないだろ

しばらくは
新薬の実験体として
使い道がありそうだ



あ…

ははっ

もう証拠も何も
残ってねえっての



おい見ろよ
今頃になって
連中の特殊班とやらが
突入してきたぞ

-END-